

# **登別市津波避難計画（地域計画）**

## **【登別市津波避難ハンドブック】**

**幌別西地区連合町内会・登別市**

**平成29年4月28日 策定**

## はじめに

平成23年3月11日、三陸沖を震源とするマグニチュード9.0の東日本大震災が発生し、東日本を中心に甚大かつ深刻な被害を受けました。

平成24年6月28日に北海道が公表した「太平洋沿岸の津波浸水予測図」において、登別市は高いところで10.2メートルの津波により市街地の多くが浸水する予測となっています。

この予測はあくまでも予測であり、必要以上に心配することはありませんが、平時から津波に備えておくことが大切です。

津波から尊い人命を守るためには、市民一人ひとりが「自分の命は自分で守る」という考えをしっかりと持って津波から避難することが何よりも大切であり、津波による被害を最小限に食い止めることにもつながります。

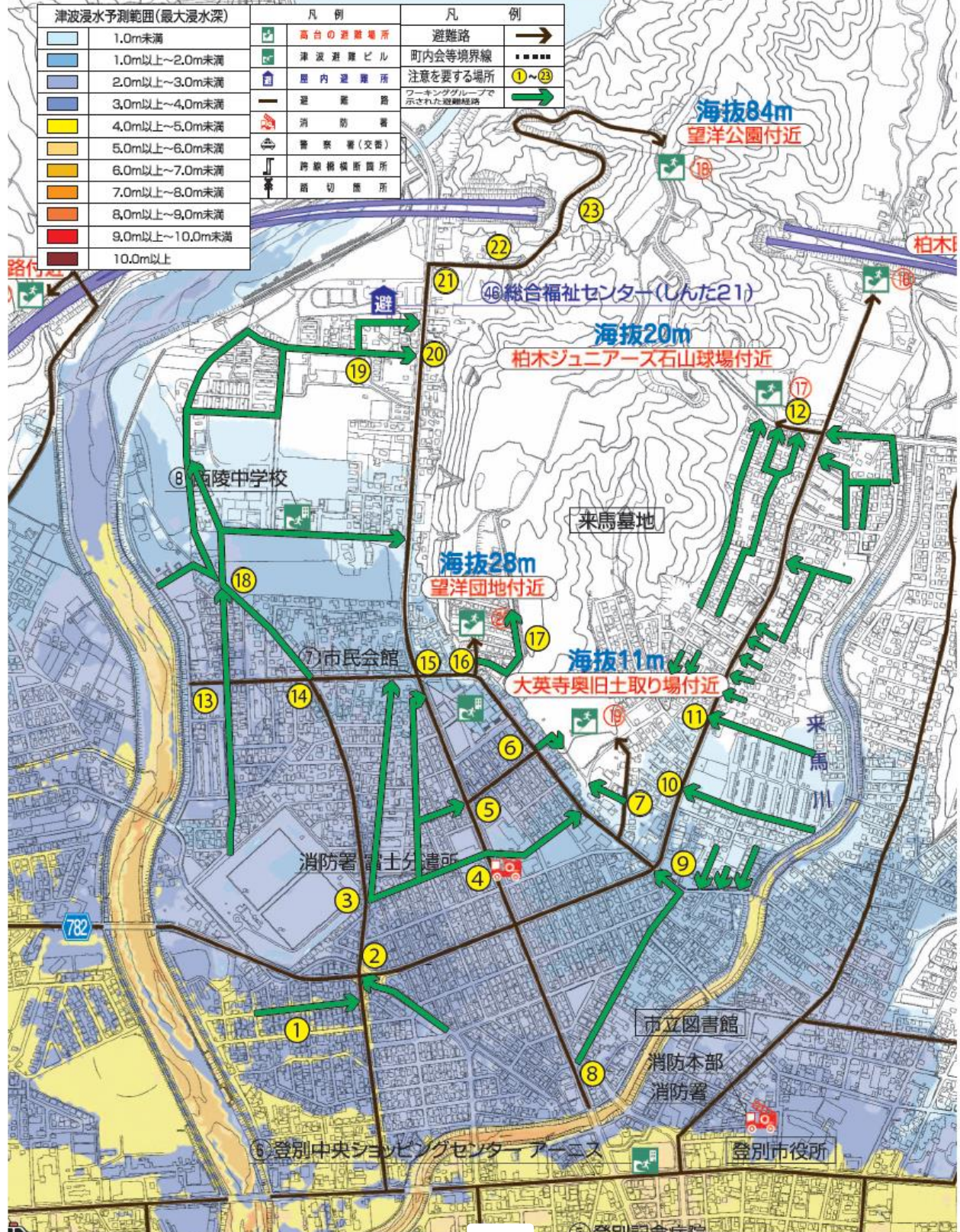
この「登別市津波避難計画（地域計画）」は、津波発生直後から津波が終息するまでの概ね数時間から3日にかけて、住民の生命と身体の安全を確保するため、「登別市津波避難計画」をもとに、地区連合町内会を単位とした市民の皆さんと市が協同で策定した地域版の津波避難計画です。

この冊子では、お住まいの地域の高台避難場所をはじめ、避難する際に注意を要する箇所などを掲載しています。

**各家庭で高台避難場所をご確認いただくとともに、高台避難場所までの避難経路を書き込み、津波に備えてください。**

# 地域の津波避難計画図

## 幌別西地区連合町内会の津波避難計画図






## 避難時に注意を要する場所

	注意を要する場所	注意を要する理由	現 状
①	<p>新川町 3 丁目</p> <p>市道新川 1 8 号線</p> <p>海拔 約 5 m</p>	<p>歩道がないため、 通行する際は注 意が必要</p>	
②	<p>道道上登別室蘭 線(7 8 2 号線) の交差点</p> <p>海拔 約 4 m</p>	<p>通行量の多い 交差点 (五差路)</p> <p>交通量が多いた め、道路を横断す る際は注意が必 要</p>	
③	<p>新川町 4 丁目</p> <p>市道西通り</p> <p>海拔 約 5 m</p>	<p>信号機のない 交差点</p> <p>交通量が多いた め、道路を横断す る際は注意が必 要</p>	
④	<p>道道弁景幌別線 (3 2 7 号線)</p> <p>ホームストア 幌別店付近の 交差点</p> <p>海拔 約 5 m</p>	<p>信号機付きの横 断歩道あり</p> <p>交通量が多いた め、道路を横断す る際は注意が必 要</p>	

	注意を要する場所	注意を要する理由	現 状
⑤	富士町 7 丁目 市道 富士 5 1 号線  海拔 約 5 m	信号機のない交 差点なので、道路 を横断する際は 注意が必要  大雨時は浸水す る可能性あり	
⑥	富士町 7 丁目 市道常盤通り  海拔 約 5 m	信号機がないた め、道路を横断す る際は注意が必 要	
⑦	富士町 7 丁目 大英寺奥 土取り場付近  海拔 約 1 1 m	歩道がないため 通行に注意  夜間や冬期間に 通行する際は注 意が必要	
⑧	道道弁景幌別線 ( 3 2 7 号線 ) むらかみ薬局前 交差点付近  海拔 約 4 m	交通量が多いた め、道路を横断す る際は注意が必 要	

	注意を要する場所	注意を要する理由	現 状
⑨	道道上登別室蘭線(782号線) 大英寺前交差点付近 海拔 約6m	信号機付きの横断歩道あり 交通量が多いため、道路を横断する際は注意が必要	
⑩	道道上登別室蘭線(782号線) 市道柏木2号線との交差点付近 海拔 約7m	信号機のない横断歩道あり 交通量が多いため、道路を横断する際は注意が必要	
⑪	道道上登別室蘭線(782号線) ぬのや付近 海拔 約8m	信号機のない横断歩道あり 交通量が多いため、道路を横断する際は注意が必要	
⑫	柏木町5丁目 市道望洋線 海拔 約14m	市道から球場に向かう際に排水溝があるので、注意が必要	

	注意を要する場所	注意を要する理由	現 状
⑬	<p>新川町 4 丁目</p> <p>市道常盤通り</p> <p>海拔 約 5 m</p>	<p>歩道が狭いため、 通行する際は注 意が必要</p>	
⑭	<p>新川町 4 丁目</p> <p>市道西通りと 市道常盤通りの 交差点</p> <p>海拔 約 6 m</p>	<p>信号機付きの横 断歩道あり</p> <p>交通量が多いた め、道路を横断す る際は注意が必要</p>	
⑮	<p>道道弁景幌別線 ( 3 2 7 号線)</p> <p>市道常盤通りの 交差点</p> <p>海拔 約 6 m</p>	<p>信号機付きの横 断歩道あり</p> <p>交通量が多いた め、道路を横断す る際は注意が必要</p>	
⑯	<p>片倉町 2 丁目</p> <p>望洋団地入口</p> <p>海拔 約 9 m</p>	<p>傾斜の急な坂道</p> <p>特に冬期間で路 面が凍結した際 は注意が必要</p>	

	注意を要する場所	注意を要する理由	現 状
⑰	片倉町 1 丁目 望洋団地 海拔 約 22 m	傾斜の急な坂道 特に冬期間で路面が凍結した際は注意が必要 がけ崩れにも注意が必要	
⑱	片倉町 4 丁目 市道片倉 2 号線 海拔 約 6 m	信号機のない交差点 交通量が多いため、道路を横断する際は注意が必要	
⑲	片倉町 5 丁目 市道片倉 4 号線 海拔 約 9 m	歩道が狭いため、通行する際は注意が必要	
⑳	道道弁景幌別線 (327号線) 市道片倉 4 号線との交差点 海拔 約 9 m	交通量が多いため、道路を横断する際は注意が必要	



	注意を要する場所	注意を要する理由	現 状
⑳	道道弁景幌別線 (327号線)  市道望洋線との 交差点  海拔 約11m	信号機付きの横 断歩道あり  交通量が多いた め、道路を横断す る際は注意が必 要	
㉑	片倉町2丁目  市道望洋線  海拔 約14m	冬期間や夜間は 特に注意が必要  ※冬期間は通行 止めのゲートあ り	
㉒	片倉町2丁目  市道望洋線  海拔 約41m	坂道が続く  路面状況が悪い ため、冬期間や夜 間は特に注意が 必要	

## 津波避難ビル

津波避難ビルとは、緊急的・一時的な避難施設であり、地震発生から津波避難までの時間や地形の条件などの理由により、「直ちに高台へ逃げる」という、本来、津波から身を守るための避難が困難であると想定される地域において、やむを得ず使用する避難施設です。

	名 称	一時避難場所	外 観
①	市民会館 富士町7丁目 33番地1	2階	
②	西陵中学校 片倉町5丁目 12番地1	3・4階	

※ 津波避難ビルを新たに選定した際は、広報紙などでお知らせしますので、各家庭で本ハンドブックに書き込んでください。

## 高台の避難場所

	名 称	海 抜	現 状
①	富士町 7 丁目 大英寺奥 旧土取り場付近	海拔 1 1 m	
②	柏木町 5 丁目 柏木ジュニアーズ 石山球場付近	海拔 2 0 m	
③	片倉町 1 丁目 望洋団地付近	海拔 2 8 m	
④	片倉町 2 丁目 望洋公園付近	海拔 8 4 m	

## 津波災害に備えて準備しましょう

非常用持出品・非常用備蓄品の準備は、防災対策の基本ですので、家族構成に合わせて準備しましょう。

定期的に食糧の賞味期限や電化製品の故障がないかをチェックすることも忘れずに実施してください。

### 非常用持出品（災害発生時に最初に持ち出すもの）

救援活動を受けられるまでの間（目安として3日間）を見込んだ非常用持出品です。

各家庭で必要と思われる持出品を備えておきましょう。

持出品は避難する際に両手が自由に使えるリュックに入れておくことを推奨します。

#### ○食糧

非常用食糧（乾パンや災害備蓄用パン、乾燥米飯、缶詰など火を通さなくていいもの×3日分程度）

#### ○水

非常用保存飲料水（ペットボトル500ml×3本程度）

#### ○生活用品

懐中電灯、携帯ラジオ、ウエットティッシュ、加熱パック、軍手、タオル、洗面用具、食品用ラップ、ナイフ・缶切り、生理用品、非常用トイレ袋、医薬品、サバイバルシート、ティッシュ、ビニール袋、使い捨てカイロ、カップ、ローソク、マッチ、防災マップなど

## **非常用備蓄品（災害に備え各家庭で備蓄しておくべきもの）**

非常用備蓄品は、津波災害に限らず、さまざまな災害に備えておくべきもので、自宅などで避難生活を送る上で必要なものです。救援物資が届くまでの期間（最低3日間、推奨7日間を家族人数分）、自足できる分量を備えましょう。

### **○食糧**

そのまま食べられるか、簡単な調理で食べられるもの。

缶詰やレトルト食品、切りもち、チョコレート、梅干し、チーズ、調味料など非常食（乾パンや災害備蓄用パンなど、火を通さずに食べられるもの）

### **○水**

飲料水は大人1人当たり1日3リットルが目安。

飲料水以外に炊事、洗濯、トイレなどに使う生活用水の確保のため、風呂の水は抜かず、寝る前はやかんやポットに水を入れておきましょう。

### **○生活用品**

カセットコンロ、紙食器、割りばし、ウエットティッシュ、トイレトーパー、加熱パック、軍手、タオル、洗面用具、水のいらないシャンプー、食品用ラップ、ナイフ・缶切り、生理用品、非常用トイレ袋、医薬品、サバイバルシート、ティッシュ、ビニール袋、使い捨てカイロ、カップ、ローソク、マッチ、マスク、ランタン、寝袋、防災マップなど

## **非常用持出品（乳幼児がいる場合）**

粉ミルク、レトルトや缶詰の離乳食、哺乳ビン、スプーン、哺乳ビンの消毒剤、紙おむつ、お尻ふき、着替えの服、抱っこひも、ベビーソープ、バスタオル、医薬品、ガーゼ、爪切り、母子手帳など

## **非常用持出品（高齢者がいる場合）**

レトルト食品（おかゆなど）、医薬品、老眼鏡、入れ歯と入れ歯ケース、補聴器など

## 津波からの避難マニュアル

緊急地震速報（警報）が発表されたときは、まずは自分の身の安全を確保しましょう。

屋内では、頭を保護し、丈夫なテーブルの下など安全な場所に避難しましょう。

屋外では、ブロック塀の倒壊、看板及び割れたガラスの落下に注意しましょう。

避難するために助け合える時間は、津波が来るまでの限られた時間しかありません。

いざというときに速やかに避難できるよう家族や近所の人たちと話し合っておきましょう。

### 揺れがおさまったら

○ **テレビやラジオで情報収集に努める。**

特に津波の情報（大津波警報、津波警報、津波注意報）を急いで確認しましょう。身の安全を図りましょう。

○ **大津波警報や津波警報が発表されたら、すぐに避難する。**

#### 日頃から備えましょう

- 高齢などのため、自ら避難することが困難な世帯を地域で情報交換をしながら確認しておきましょう。
- 日頃から声をかけ合う近所付き合いをしましょう。
- どこに避難したらよいか、安全な場所と避難経路を一人ひとりが確認しておきましょう。
- 聴覚障がい者など、呼びかけに気づかない人もいるので、情報を必要とする人を地域で確認しておきましょう。

## 避難するためには

- 高齢者や障がい者の避難を支援するとともに、避難していない人に声をかける。

### 日頃から備えましょう

- 高台避難場所に避難するまでの所要時間、避難経路を一人ひとりが確認しておきましょう。
- 歩けない人など、担架やリヤカーが必要な人を地域で確認し、支援について話し合いをしておきましょう。

## 津波が迫っていて、時間的な余裕が少なくなったら

- 自分の身の安全を第一に行動する。一目散に避難する。

### 日頃から備えましょう

- 自分の命は、自分で守らなければならないことを一人ひとりが自覚しましょう。

## 安全な場所に避難したら

- 安全が確認されるまで避難場所にとどまる。
- まわりの人たちと励まし合う。
- 安全が確認されるまでむやみに避難場所から動かない。

### 日頃から備えましょう

- ラジオなどで情報収集ができるようあらかじめ非常用持出品を備えておきましょう。

## わが家の防災メモ

- ハンドブックにある津波避難計画図で高台避難場所を確認し、避難経路を書き込みましょう。
- 防災マップなどで外出先での高台避難場所を確認しましょう。

わが家の避難場所 (高台避難場所名)	
-----------------------	--

家族の名前	血液型	電話番号 (携帯電話など)	会社・学校	
			名称	電話番号

親戚・知人の名前	電話番号 (携帯電話など)	メモ

緊急連絡先	電話番号	緊急連絡先	電話番号
登別市役所 (代表 夜間・休日)	0 1 4 3 - 8 5 - 2 1 1 1		
登別市役所 (総務グループ防災担当)	0 1 4 3 - 8 5 - 1 1 3 0		
登別市消防署	0 1 4 3 - 8 5 - 2 5 5 1		
登別交番	0 1 4 3 - 8 5 - 2 1 3 6		